

長野県南佐久郡における中学校部活動の 地域クラブ移行に向けた取り組み



令和6年2月2日 南佐久郡中学校部活動運営委員会

はじめに…南佐久郡について

取り組みの経過
令和4年度までの取り組み

現状と課題
令和5年度の取り組み

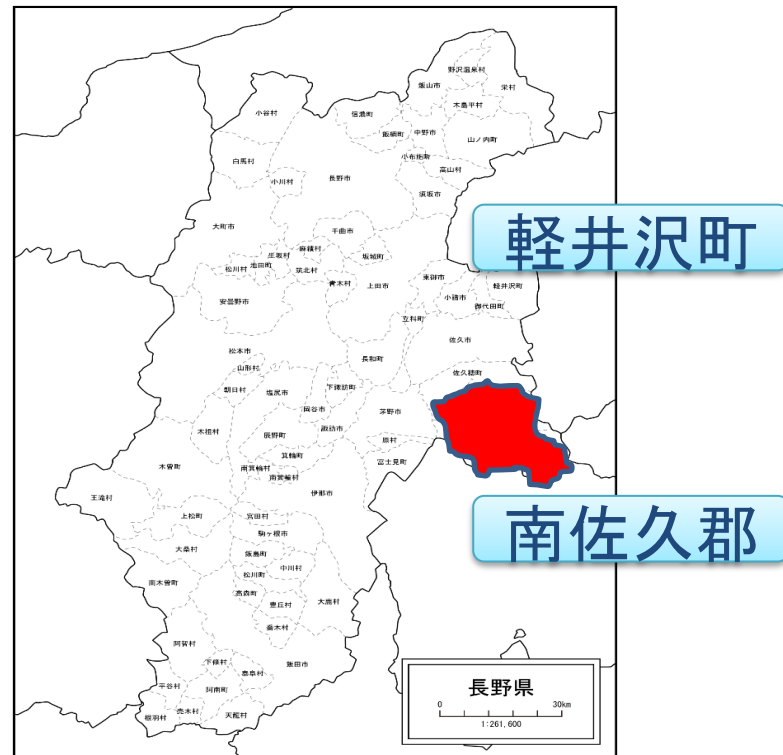
統括コーディネーターの仕事

次年度以降の取り組み
持続可能な部活動にするために

はじめに

【長野県南佐久郡の概要(6町村)】

・長野県の東部に位置し、小規模な2町4村、6つの自治体により構成



はじめに

【長野県南佐久郡の概要(6町村)】

- ・人口22,612人
- ・小さな中学校が4校 全体で536名

536名

	令和4年4月	進学先中学校	小学校
佐久穂町	10,034	佐久穂中 271名	佐久穂小学校
小海町	4,208	小海中学校 110名	小海小学校
南相木村	933		南相木小学校
北相木村	686		北相木小学校
南牧村	3,003	南牧中学校 80名	南牧北小学校 南牧南小学校
川上村	3,748	川上中学校 75名	川上第一小学校 川上第二小学校
計	22,612	4校 536名	8校

取り組みの経過

1 現状の把握と課題の共有

(1) 南佐久4校は、それぞれ生徒数の減少による
部活動の運営の厳しさを痛感

<佐久穂中学校の例>

① 令和2年11月19日付 佐久穂中学校スポーツ文化芸術部活動運営
委員会の保護者宛て文書

内容 生徒数の減少に伴い、チームとしての活動が困難になる
部活動の統廃合の検討

② 令和3年 1月20日付 佐久穂中学校長より保護者宛て文書

内容 部活動運営委員会を受けた今後の見通し

部活動の休部及び廃部の原則ルールの明示

人数不足が原因で2年連続して出場できない場合は募集しない。

取り組みの経過

1 現状の把握と課題の共有

<南牧中学校の例>

①令和3年2月18日付 PTA会長より南牧村教育長への要望書の提出

内容 町村をこえた拠点校方式による部活動の運営
学校単位の部活動に変わりうる生徒のスポーツ活動の機会
の確保

なぜ、そのスポーツをやりたい子どもができないのか
都市部と違って、クラブチーム等の選択ができない
子どもの夢を摘み取っていないのか

取り組みの経過

1 現状の把握と課題の共有

(2) 令和2年7月17日 郡教育委員及び校長会合同研修会

- ・南佐久郡の校長会からの報告
- ・内容 4中学校の生徒数の推移と部活動の削減の見通し
危機的な状況である
拠点校方式による部活動の提言

衝撃を与えた、3人でのバレーボールの練習の映像
教育委員一同に、危機感を共有
子どもたちのために何とかしよう

(3) 南佐久郡中学校校長会、教育長会、 代議員会(教育長及び職務代理者の会)で検討を重ねる

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

(1) 地域と協働・融合した部活動のあり方についての方針

令和2年9月1日 「学校の働き方を踏まえた部活動改革」の明示

- ・部活動を地域に移行する
- ・休日の部活動の段階的な地域移行
- ・令和7年度末を目途に移行

(2) 令和3年5月27日 郡町村教育長・職務代理者・中学校長合同研修会

- ・中学校の部活動の地域クラブ移行についての理解を深める

課題・・・ 合同部活動と地域移行との連動

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

(3) 令和3年8月31日 南佐久郡町村教育長会

- ・南佐久の方向性(単独or複数)
- ・拠点化方式合同部活動と地域クラブ移行の同時進行
- ・そのための運営方法や財源

(4) 令和3年10月21日 南佐久郡町村教育長・校長会合同研修

- ・拠点校方式合同部活の理解
- ・地域クラブ移行への可能性

- 課題・・・
- ① 合同部活に対しての県中体連の見解が明確でなく南佐久チームとして出場できるのか？
 - ② 合同部活の運営母体や運営費用は？
 - ③ 地域クラブ移行との同時進行は？

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

中学校長の情報交換

- ・各校の実状と課題整理(部活・指導者、等)
- ・推進計画、移行の素案



教育委員会との連携

教育長、教育委員会(学校教育・社会体育等)、校長

- ・趣旨の共通理解(学習会の実施、等)
- ・検討(予算、事務局、推進、等)

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

(5) 目指す方向性の確認

- ・生徒がやりたいスポーツができる環境づくりをする。

拠点校方式の合同部活と休日の部活動の
段階的な地域移行を同時に行うために

○R4地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業に申請

(休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究)

- ・南牧中学校が申請
- ・南牧村教委指導主事(村費)がコーディネーター

2つの課題が解決・・・運営費用の捻出と運営母体の検討
地域移行との同時進行の推進

○南佐久郡中学生部活動運営委員会(仮称)の立ち上げ

(6町村教育長と事務局、4中校長)

取組の経過

【南佐久(6町村)】

- 佐久穂町
- 小海町
- 南相木村
- 北相木村
- 南牧村

R4 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業

- 川上村

○小学校 8校

○中学校 4校

(組合立含む)



長野県

0 30km
1:261,600

南佐久の取り組み

休日の部活動の段階的な地域移行

南佐久の中学生が
「やりたいスポーツ」
に参加できる環境づくり

南佐久全体で



子どもたちが主役の
子どもたち自身のための
持続可能なスポーツ活動

と同時に

を

推進して

を実現する

中体連の指針

スポーツ庁の動きを受けた中体連の指針

○人数の足りないチームのその大会限りの合同部活

→特定の地域の学校が集まり、学校単位以外の地域のチームの参加を認める

南佐久の4中の拠点化による合同部活が出場可能

 残された3つ目の課題解決

令和4年10月17日 郡中学校部活動地域移行準備会

生徒(中学生)

合同練習会の試行

- ・他校の生徒と一緒に
地域の指導者から指導
(卓球、男女バスケ、サッカー、等)



「楽しい」「やりたい」「できる」経験

小海線を利用して移動

- ・時刻表に合わせた時間設定
- ・駅に近い会場(中学校、等)



生徒(中学生)

令和4年度の拠点校方式合同部活動



	佐久穂中	小海中	南牧中	川上中	拠点校と参加者
男女卓球	0	5	3	2	南牧10
サッカー	3	6	0	0	小海9
男子バスケット	6	1	0	0	佐久穂7
女子バスケット	9	6	4	0	佐久穂19

全員で45名参加 11月から2月まで、土曜日月2回実施 計8回
計8回は地域クラブとして、それ以外は各校で部活動として

南佐久全体で願いを実現するために

○事務局の設置

→佐久穂町教育委員会内

(令和5年度 地域スポーツ活動体制整備委託事業)

→コーディネーターの配置

(謝金、交通費補助、連絡調整等)

○町村から負担金をいただいて運営

→月2回24回の休日を地域移行

→謝金、交通費補助、スポーツ保険、

組織維持のために必要な経費、JR小海線運賃等

→保護者からの負担は無し

南佐久全体で願いを実現するために

○なぜ、町村財政から負担金をいただけたか

- ① 校長先生方やコーディネーターの熱い思い
→月一回以上の打ち合わせやチャットツールでのやりとりによる方向性や具体策の決め出し
- ② 児童生徒や保護者の思い
→アンケートによる客観的なデータや生の声
- ③ 町村会と同じく、南佐久の小中学校・教育委員会の総意である→どの町村が欠けても成立しない首長の説得のために

南佐久郡中学校部活動運営委員会

(目的)

部活動の地域移行や部員不足の問題など、現在中学校の部活動を取り巻く諸問題に対処し、南佐久地域における持続可能な中学校部活動の実現を図るものとする。

(構成員)

- 教育長（6名）
- 中学校長（4名）
- 各教委事務局（必要に応じて総会に召集する）
- 統括コーディネーター

- 意見がまとまりやすいように、少人数で組織

町村の負担金

【南佐久(6町村)】

▪ 佐久穂町 R5 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業

▪ 小海町

▪ 南相木村

▪ 北相木村

▪ 南牧村 R4 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業

▪ 川上村

○小学校 8校

○中学校 4校

(組合立含む)



南佐久の休日における地域移行（地域クラブ）

南佐久郡中学校部活動運営委員会を運営母体とし
町村教委（事務局）が中学校と連携して、指導者や場所の調整

負担金で支援

学校施設

（川上・南牧・小海・佐久穂）

サッカークラブ

指導者

バスケットクラブ

指導者

〇〇クラブ

指導者

〇〇クラブ

指導者

卓球クラブ

指導者

公民館

社会体育施設

公民館施設

休日参加

休日参加

川上中学校

南牧中学校

小海中学校

佐久穂中学校

平日：部活動（顧問・外部指導者・部活動指導員、等）

南佐久全体で願いを実現するために

統括コーディネーターとしての目標

継続の基盤作り

南佐久郡中学校部活動運営委員会の発足

南牧村による実践

願いの実現

教育委員会・学校長による話し合い

部活動の現状

保護者・生徒の願い

南佐久全体で願いを実現するために

○統括コーディネータの具体的な仕事（役割）
（運営委員会の事務局を兼ねる）

- 1 関係者への周知 ⇒ 会議・研修会の開催
- 2 部活動の実態把握 ⇒ 4校校長会・ネットの活用
- 3 負担金の管理
口座の開設 指導者への謝金・旅費支給
保護者へJR利用補助の支給
保険への加入 ユニフォーム代の支払い
税務署へ「源泉徴収」の納入
- 4 国の委託金をいただくための書類作成
- 5 保険金支払いへの対応（けが等の発生時）

会議



スポーツ指導員との打ち合わせ会
(4月・8月)

南佐久郡中学校部活動運営委員会総会
(5月・11月)



部活動の実態把握

○4校校長会

メンバー: 校長(川上中・南牧中・小海中・佐久穂中)
南佐久郡中学校部活動運営委員会
会長(佐久穂町教育長)
昨年度事務局(南牧村主幹指導主事)
本年度事務局(統括コーディネーター)

内 容: 部活動地域移行に関する様々な情報を共有
これからの進め方について意見交換

開催日: 4/14、5/1、6/23、7/25、9/15、11/24、12/12、1/15
軌道に乗るまでは毎月実施

○「Microsoft Teams」を使っての情報の共有: 随時

1 指導者への謝金・旅費支給

負担金
の
管理

① 税務署に相談して

- ・ 給与支払事務所の開設
- ・ **給与**として支払い（源泉徴収 3.063%）
- ・ 旅費に対する課税なし ⇒ **指導者へ厚い待遇**

② 指導者の各口座へ給与等の振込

税務署への税の納付 ⇒ **アナログな手続きに課題**

2 保護者へのJR運賃の補助

年度末にまとめて現金で

⇒ **保護者への負担軽減**

負担金の
管理

給与支払事務所の 開設

手順

- ・税務署に相談
- ・給与としての支払いを決定
- ・手続きに必要な書類をいただく
- ・税務署に書類を送付
- ・法人番号通知を受け取る



源泉徴収票
給与支払報告書 で番号を使用

(付先)
384-0613
長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町569 佐久穂町教育委員会内

令和5年10月3日

南佐久郡中学校部活動運営委員会 御中



#01000004
231004

国税庁長官
(官印省略)



498-60-12251-3

法人番号指定通知書

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定により、下記のとおり法人番号を指定したことを通知します。

記

法人番号(13桁)		4 7 0 0 1 5 0 1 2 0 9 6 0
法人番号の指定を受けた者※1	商号又は名称	南佐久郡中学校部活動運営委員会
	本店又は主たる事務所の所在地	長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町569 佐久穂町教育委員会内
	国内における主たる事務所等の所在地※2	
法人番号指定年月日		令和5年10月3日
国税庁法人番号公表サイトの表記※3	商号又は名称	南佐久郡中学校部活動運営委員会
	本店又は主たる事務所の所在地	長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町569 佐久穂町教育委員会内
	国内における主たる事務所等の所在地※2	

※1 通知書作成日現在の情報に基づき表記です。

※2 法人番号の指定を受けた者が外国法人等の場合に記載しています。

(G231004-0000004)



負担金
の
管 理

ユニフォームを作り「南佐久チーム」
としての意識を高める



保護者へのJR利用補助の支給

約30万円

負担金の
管理

地域にあるJR線の
活性化

確認方法

出席簿によりJR使用の確認

期間

5月～翌年2月まで

支払時期

3月

支払方法

各校の部活顧問を通して

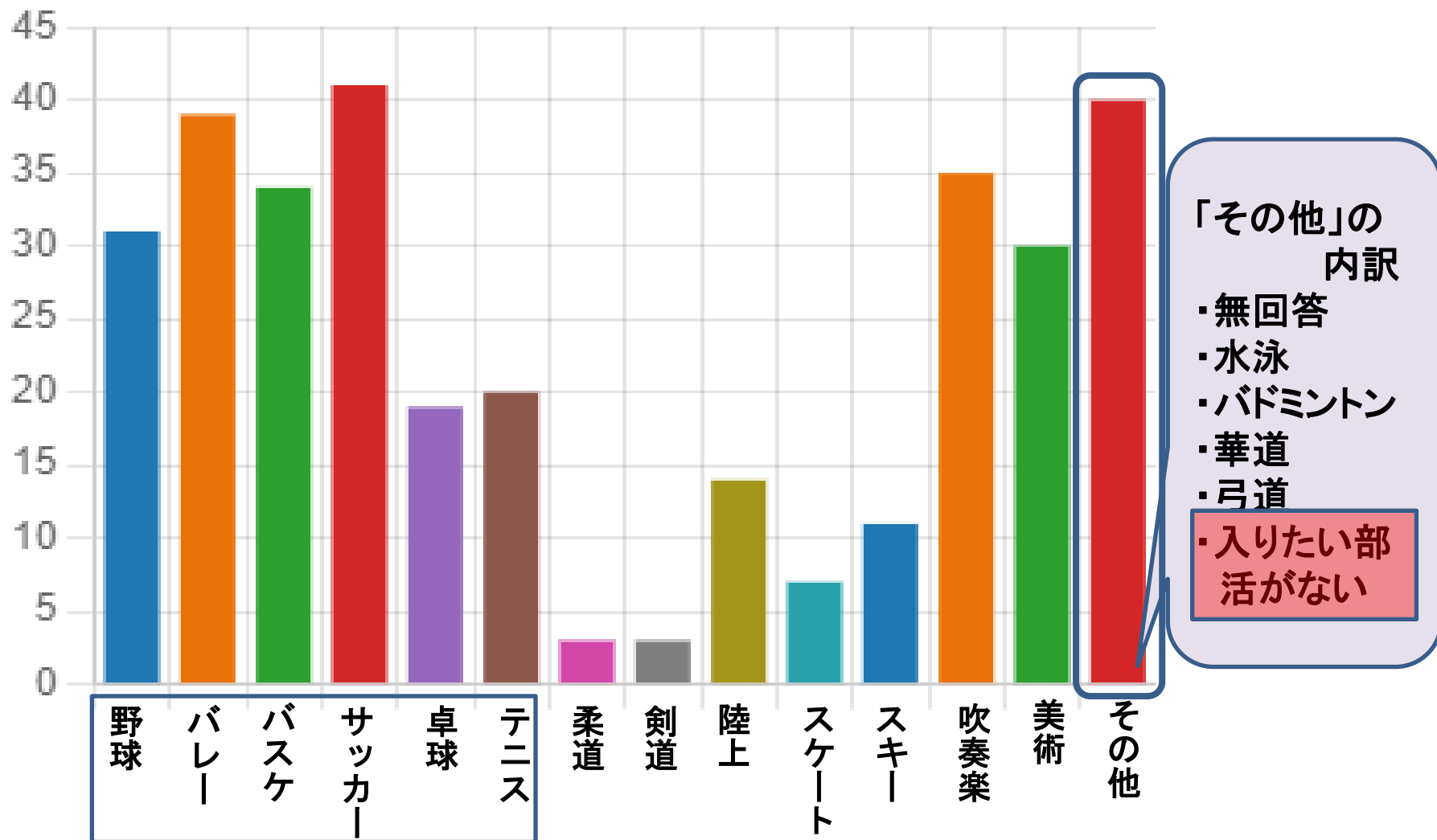
No.	所属中学校名	生徒氏名	JR小海線 乗車駅区間	出欠	交通費補助金
1	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
2	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
3	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
4	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
5	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
6	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
7	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
8	川上中学校		信濃川上ー小海		660円
9	南牧中学校		海尻ー小海		420円
10	南牧中学校		清里ー小海		1180円
11	南牧中学校		佐久広瀬ー小海		480円
12	南牧中学校		清里ー小海		1180円
13	小海中学校		ー		
14	小海中学校		ー		
15	小海中学校		松原湖ー小海		380円
16	小海中学校		松原湖ー小海		380円
17	小海中学校		ー		
18	小海中学校		ー		

小学生

質問「中学校で入りたい部活」

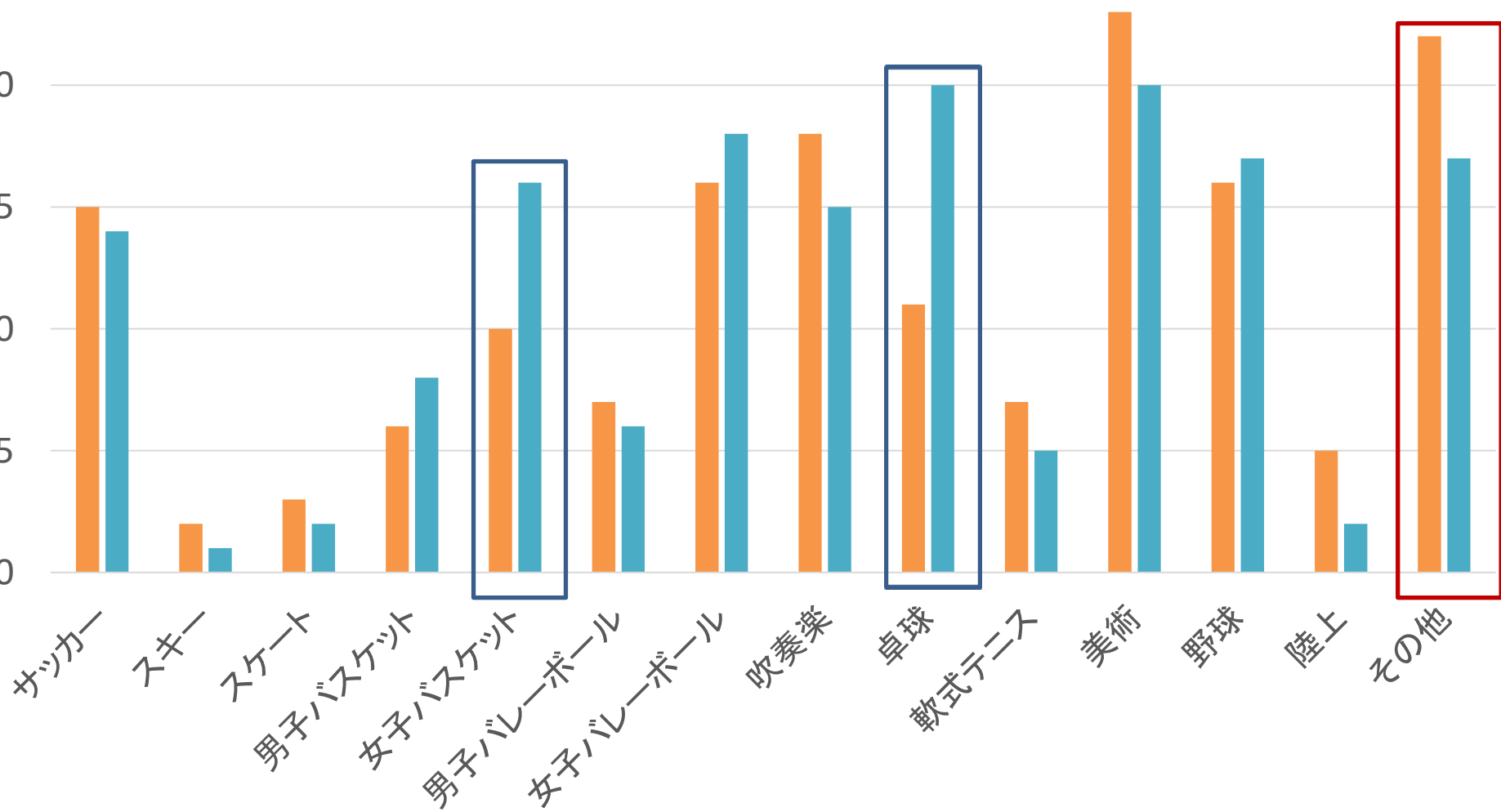
令和4年(2022年)7月実施

(人)



令和5年度 中学1年生の入部状況

(人)
25



■ 小学校6年時の希望

■ 中学校1年時の入部

部活動地域移行 休日活動の様子（～夏期大会）

令和5年度

部活	川上	南牧	小海	佐久穂	休日の練習会場	地域の指導者
野球	単	合同	単	単		
サッカー	0人	拠点 2人	拠点 12人	拠点13人 ※大日向中1人	小海中または佐久穂中	4人 0人
女バレー	単	単	単	単		
男バレー	0人	0人	拠点 1人	拠点 15人	佐久穂中	3人 0人
女バスケ	0人	拠点 7人	拠点 14人	拠点14人 ※大日向中3人	佐久穂中で合同練習会	4人 0人
男バスケ	0人	拠点 5人	拠点 1人	拠点12人 ※大日向中2人	佐久穂中	4人 2人
テニス（男女）	単			単	※合同練習会を行う 場合：佐久穂中	
柔道・剣道	単	団体	団体	団体		
陸上	単	単	団体	団体	※合同練習会を行う 場合：川上中	
卓球	拠点 8人	拠点 4人	拠点 9人	単	小海中 (南牧中央公民館)	4人 1人
水泳	団体	団体		団体		
スケート・スキー	単	単	単			
吹奏楽	単	単	単	単		
美術			単	単		

📌部活【月に2回程度 地域での活動
中体連の大会に合同チームで参加】



男子
バスケット
南牧・小海・佐久穂

「バスケット部がない」、「部員数が少ない」学校の生徒が
「南佐久チーム」として出場



卓球

川上・南牧・小海

これまでは個人戦しか出場できなかったが、
団体戦に「南佐久チーム」として出場



サッカー

南牧・小海・佐久穂

- ・サッカー部がなかった学校の生徒もサッカーができる、大会に出場できる
- ・佐久地区で唯一、県大会へ出場

部活	川上	南牧	小海	佐久穂	休日の練習会場	地域の指導者
野球	単	合同	単	単		
サッカー	0人	拠点 2人	拠点 12人	拠点13人 ※大日向中1人	小海中または佐久穂中	5人 1人
女バレー	単 11人	拠点 4人	拠点 11人	単 8人	小海中学校	4人 1人
男バレー	0人	0人	拠点 1人	拠点 15人	佐久穂中	3人 0人
女バスケ	0人	拠点 7人	拠点 14人	拠点14人 ※大日向中3人	佐久穂中で合同練習会	4人 1人
男バスケ	0人	拠点 5人	拠点 1人	拠点12人 ※大日向中2人	佐久穂中	4人 2人
テニス（男女）	単			単	※合同練習会を行う場合：佐久穂中	
柔道・剣道	単	団体	団体	団体		
陸上	拠点 9人	拠点 3人	団体	団体	川上中学校	3人 1人
卓球	拠点 8人	拠点 4人	拠点 9人	単	小海中 (南牧中央公民館)	4人 1人
水泳	団体	団体		団体		
スケート・スキー	単	単	単			
吹奏楽	単	単	単	単		
美術			単	単		

【8部活】 拠点化に向けた合同練習会
 新人戦に向けた拠点校チーム

教員以外の指導者の増加（コーチ・部活動指導員）

部活ごとに責任者を決め連携

スポ少・協会・指導者からの情報提供

活動場所の決定方法

- ・ **小海中学校**
中間付近で、誰もが行き来しやすい
JR小海駅から学校が近い
- ・ **佐久穂中学校**
参加人数が一番多い
大日向中の生徒が通いやすい
JR海瀬駅から近い

- ・ 指導者が連絡を取り合い、翌月の予定を立てる際に会場を決定している。（会場校の野球部とかち合わないように）
- ・ 会場を固定してしまわないように留意している。



練習時間数や練習時刻の調整について

サッカー

- 練習時間（委員会で基本的なことを指示）

「休日練習」

「1日に3時間以内」

「月に2回程度」

- 練習時刻の調整

JR線の到着時刻により決定
上り・下りで同じ時間帯になるように

8:30~11:30

9:30~12:30

野辺山	着		0644		0817	羽黒下	発	0742		0833
野辺山	発		0645		0818	海瀬	発	0744		0835
信濃川上	発		0655		0827	八千穂	発	0748		0839
佐久広瀬	発		0700		0833	高岩	発	0751		0843
佐久海ノ口	発		0707		0840	馬流	発	0756		0846
海尻	発		0711		0844	小海	発	0759		0849
松原湖	発		0716		0849	松原湖	発	0805		=
小海	発	0657	0724		0855	海尻	発	0810		
馬流	発	0700	0728		0858	佐久海ノ口	発	0814		
高岩	発	0703	0731		0901	佐久広瀬	発	0821		
八千穂	発	0706	0734		0905	信濃川上	発	0828		
海瀬	発	0710	0738		0908	野辺山	着	0838		
羽黒下	発	0712	0741		0912	野辺山	発	0838		

統括コーディネーター

・ **スポーツ指導員について**

地域指導者の確保、教員の異動による交代への対応、手軽にできる研修の実施（指導者としての意識を高める）⇒（ビデオによる視聴等）

・ **予算について**

町村による負担金（分担金）の継続・増額、国からの補助の継続 ⇒（不足時：保険掛金の個人持ち・JR線補助の打ち切り・参加者からの会費徴収）

・ **対象部活動について**

増減への素早い対応、文化部（吹奏楽部）への対応 ⇒（校長先生との連携）

統括コーディネーター

・ **給与支払事務について**

手書きによる書類作成のデジタル化、銀行払込による手数料発生への対応

・ **税務署への対応について**

手書きによる書類作成のデジタル化、源泉徴収票及び給与支払報告書の作成のデジタル化

・ **平日における部活動地域移行について**

教員への給与の支払い方法について⇒課題が多い状況である

・ **委託金請求における事務手続きについて**

手続きの簡素化を期待

（これに費やす時間が多い）

部活動の現状と課題

よさ

- ・生徒がやりたい活動ができる
- ・お互いに切磋琢磨し、高め合える仲間づくり
- ・専門的な指導が受けられる
- ・先生方の負担感の減



町村負担金や事務局による活動を支える仕組み

課題

- 移行の回数、他の部活や平日の合同練習へ拡充（単独で成立できない活動や文化部など）
- 地域の指導者の確保
- 保護者や地域の皆様の理解
- 南佐久全体で高め合う仲間としての意識づくり



持続可能にするため、理解や仕組みが必要

部活動の現状と課題

課題

～平日の部活動のあり方～

- ・部活動を中学校からなくしていいのかという議論

- ・学校間の距離という物理的な障害や指導者の確保

- 休日の集中部活と平日の生徒自身による主体的な練習

- 年に数回 水曜日半日授業 午後は各中学校のスクールバスで一斉に移動し、平日の合同部活



課題山積の平日の部活動地域移行

部活動の現状と課題



南佐久「ユニフォームを制作し
仲間意識を高める」

部活動の現状と課題



文化芸術活動でも
南佐久合同で

長野県南佐久郡における中学校部活動の 地域クラブ移行に向けた取り組み



令和6年2月2日 南佐久郡中学校部活動運営委員会